

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第79号（通巻第146号）

2009年5月29日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 新設科目「学校制度・経営論」の開設について

本年度より、石川附属教育実践総合センター長が統括する学校教育課程の新設科目として、教職を目指す学生に対し教師としての資質及び力量を育むことをねらいとした「学校制度・経営論」がスタートしました。130名の学生の皆さんが熱心に授業に取り組む姿勢が見受けられました。この授業では、山梨県総合教育センターの御協力を得る中で、三井所長をはじめ8名の研修主事等の先生方に、順次、ご講義をしていただくことになっております。教育センターの先生方に講義していただく内容は、下の表に示されているように、多彩な魅力的なものとなっています。

5月13日（水）部長	比志秀樹	学習指導要領をめぐって
5月20日（水）主幹研修主事	星野浩章	戦後日本教育の流れ
5月27日（水）主幹研修主事	泉 久功	教育課程実施状況調査から ○学習状況の調査の結果概況と今後の指導上の改善
6月 3日（水）研修主事	坂本祐二	効果的な言語活動を取り入れた 小学校英語活動の指導法
6月10日（水）研修主事	古谷みつ江	道德教育の在り方
6月17日（水）主幹研修主事	羽中田佳彦	特別支援教育
6月24日（水）主幹研修主事	菓袋秀樹	情報社会と子供をとりまく環境
7月 1日（水）研修主事	一瀬英史	ストレスマネジメント教育
7月 8日（水）所長	三井 誠	学校における危機管理

■ 「第1回 教育臨床研究会」のお知らせ

昨年度に引き続き、平成21年度も「教育臨床研究会」を開催いたします。本研究会は、特別な教育的ニーズをもっている児童生徒への学級や家庭での具体的支援について考える研究会（年3回程度）です。第1回の研究会は6月26日（金）10時半～12時（於J号館5F多目的室）の予定です。山梨県教育委員会の河西慶仁先生より「山梨県の特別支援教育の現状と課題」についてお話し頂き、学習を進めます。参加費は無料です。事前申し込みは不要ですので、ご関心をお持ちの方は直接会場へお越しください。

■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」にご記入いただく形で送信してください。

ただし、セキュリティの問題がありますので、個別の情報は市町村名及び学校名にとどめ、個人情報等の入力はお控え下さい。特に、発達障害・不登校等の個人的な問題に関する相談ケースへの対応については、メールもしくは紙ベースにて谷口まで別途ご連絡下さいませ。

或いは、年度末の2月25日付け（県教委提出）と3月末（文科省提出）で、教員評価DBの当該箇所をエクセルでダウンロードしたファイルを谷口宛にメールでお送りいただいてもかまいません。

ご協力宜しくお願い致します。

■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、下記事項をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけ下さいませ。

日付	方法	相談対象	学年	性別	相談者	相談内容	備考
080401	訪問	〇〇小	小6	男	教師	発達障害児へのかかわり	(特別支援コーディネーター)
080405	メール	××中	中3	女	教師	いじめへの対応	

報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口はいつて左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■ 山梨県教育委員会「第1回教育相談活動研修会」のご報告(山梨大学地域社会連携融合プロジェクト)

山梨県教育委員会主催の「第1回教育相談活動研修会」が4月28日(火)、県庁内会議室において開催されました。県内巡回相談員、児童相談所、県総合教育センター、少年サポートセンター(山梨県警)等、計19名の県内教育相談活動関係者が一同に会し、「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」位置づけの確認と山梨県の子ども支援事業の現状報告があり、大学と地域の協働的な相談体制についての活発な情報交換が行われました。また、研修として2件の相談事例検討会が行われました。附属教育実践総合センターからは谷口明子教授が出席し、中学生の相談事例を出し「母親ガイダンス」のあり方についてご検討いただきました。

■ 「第1回 教育相談室連絡協議会」のご報告(山梨大学地域社会連携融合プロジェクト)

第1回教育相談室連絡協議会を5月12日に開き、附属4校園の教育相談担当教諭4名と学内教員2名および非常勤相談員の出席のもと、今年度の事業予定や体制、相談状況、附属学校園への支援等について協議しました。今年度も、昨年度から引き続き、スクールカウンセラーとしての大学と附属学校園との相談事業連携、及び山梨県教育委員会及び山梨県教育四者と「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」を展開する予定です。昨年度から継続のケースを含め、今年度も既にご相談依頼が寄せられています。次回は7月21日を予定しています。教育相談室に関するご意見や利用については附属教育実践総合センター谷口までご遠慮なくお寄せください。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室(Y-304)をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室(J号館4F)にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。(なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター教育相談室及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。)教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」に関するお知らせ

相談スタッフを募集しています。新しく着任された先生や未登録の先生方は、この機会に是非ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。新規登録をお考えの先生は、教育人間科学部附属教育実践総合センター谷口までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、ご連絡ください。